

## 開業医の先生方 X線 CT による冠動脈検査をご利用ください!

当院では、X線 CT による冠動脈検査を4月から開始しています

### ●結果報告と必要日数について●

- 所見なし：循環器医師の読影にて10～14日
- 所見あり：循環器医師の読影にて2～3日
- 検査方法：食後3時間ほど空けます。点滴ラインを留置し、造影剤を注入します(検査時間は20分程度)



### ●お問い合わせについて●

- 所見がある人は患者サポートセンターまでお問い合わせ下さい。
- 人間ドックでのご利用は甲府共立病院 健診センター(直通 055-226-5201 担当：深澤)へご連絡下さい。

2023年度の患者サポートセンター  
 師長・室長・主任です!  
 皆様が地域で安心して過ごせる様、  
 相談しやすい患者サポートセンター  
 を目指します。  
 どうぞよろしくお願い致します。

写真上段左から、  
 齋藤 徳仁(臨床心理士室長)、太田 美鈴(看護主任)、  
 川俣 彩(社会福祉士主任)、中村 裕美(副センター長)  
 下段左から、  
 梅景 沙織里(社会福祉士室長)、鈴木 恭子(看護師長)  
 関根 はるか(臨床心理士主任)



## レスパイト入院のご案内

### 【ご利用いただける方】

- ◆ 在宅医から要請がある方
- ◆ 介護保険によるショートステイ利用が困難な方
- ◆ 在宅で医療管理が必要な方  
人工呼吸器使用や在宅酸素療養中、経鼻・胃瘻等による栄養管理、インスリンの管理  
人工肛門管理、褥瘡処置、痰吸引などが必要な方
- ◆ 定期透析を行っている方
- ◆ その他、ご相談・ご要望に応じて対応いたします

### 【入院日数・間隔など】

- ◆ 入院日数：原則 3日～10日間
- ◆ 入院間隔：原則 最終利用日から3ヶ月
- ◆ 入院日：土日祝日、主治医の不在日を除く平日 (入院：10時頃 退院：10時頃)

### 【入院までの流れ】

- ◆ ご利用希望日の2週間前までに、患者サポートセンター(055-226-3135 直通)へ申し込みをお願いします。申込書は、患者サポートセンターに用意してありますので、必要時はお申し出ください。甲府共立病院ホームページからもダウンロードできます。  
\* 緊急時でもできる限り対応いたします。まずは、電話にてご相談ください。
- ◆ 申し込み後、2つの地域包括ケア病棟判定会議で入院を検討し、申込者へ連絡いたします。



日本医療機能評価機構 認定病院 甲府共立病院 Kofu-Kyoritsu hospital

Regional Medical Liaison Office  
 News and magazine

# 地域連携だより

地域の皆様が安心して治療が受けられるように



## 目次

- P2 小西院長ご挨拶
- P2 患者サポートセンター長ご挨拶
- P2,3 新入医師紹介
- P3 JCEPのご紹介
- P4 開業医の方向けの冠動脈検査のご案内
- P4 レスパイト入院のご案内

2023  
 年度  
 vol. 1



公益社団法人 山梨勤労者医療協会

## 院長ご挨拶

昨年度は、新型コロナウイルス感染症重点医療機関・協力医療機関であったこともあり、先生方からの紹介をお断りせざるをえないケースがありました。申し訳ございません。

この3年間新型コロナの診断・治療の進歩、感染症法上の位置づけが5類になることに伴い、一部制限していた医療活動を戻し、新型コロナに限らず「すべての救える命を守る体制」にしていきます。基本的感染対策はしっかりと継続し、発熱患者さんの空間・時間分離は引き続き行い、「安全・安心な医療」を徹底します。本年も救急医療を中心に、開業医・施設の先生方、患者さん、地域で生活されている人々と連携をとりながら「地域づくり」を行う病院をめざします。

これからも生活困難な方が経済的な理由により必要な医療サービスを受ける機会を制限されることがないよう「無料低額診療事業」「差額ベッドのない病院」を継続していきます。

さて、当院では「教育が病院の質を担保する」と考え、初期研修医を積極的に受け入れてきました。2004年医師臨床研修必修化以降70名の医師が研修を終え、49名の医師が県内の医療機関で活躍しています。

NPO 法人卒後臨床研修評価機構 (JCEP) という「国民に対する医療の質の改善と向上をめざすため、臨床研修病院における研修プログラムの評価や人材育成等を行う」ことを目的とした第三者評価機関が2007年に発足し、当院は2010年より認定を受けており、昨年度の更新でエクセレント賞に認定されました。

ウィリアム・オスラーは「教育を一切行わない病院は一流の仕事をしているとはいえない」と述べています。これからも医師、看護師をはじめすべてのスタッフの教育に力を入れ、多職種協働の医療を展開していきます。

本年も患者さんを主体にスタッフ一人ひとりが役割と責任を自覚し努力していきますので、さらなるご指導・ご鞭撻を宜しくお願い申し上げます。



院長  
小西 利幸

## 患者サポートセンター長のご挨拶

地域の医療機関・介護事業所の皆様、いつも当院の医療活動へのご理解・ご協力、誠にありがとうございます。

5月8日より新型コロナウイルス (covid-19) の感染症法の位置づけが5類に移行しましたが、我が国では第9波の懸念がなくなったわけではなく、病院・診療所や介護事業所等には引き続き高いレベルの感染対策が求められます。コロナ禍も3年半を過ぎ、病院・診療所や介護事業所などで働く職員にとっては、極めてストレスフルな時が経過し、世間が様々な活動を再開する中ギャップが広がり、職員のストレスに追い打ちをかけています。例年に比べ看護師の離職率が全国的に高い傾向であることも報告され、コロナ禍によるストレスの影響も心配されています。

働く人の健康を守る取り組みとして「ストレスチェック」が定着しています。セルフケアの入り口としては有効ですが、ストレスがたまりにくい職場づくりや組織的取り組みにつなげるには不十分といわれています。ストレスで体調を崩した方をその人の自己責任とせず、ピアサポートや事業所として職員を守る取り組みが、コロナ禍だからこそ、いっそう大切だと思っています。

現状では、病病連携、病診連携、医療と介護の連携の場面で、様々なストレスの要因が存在しているのも実状だと思います。病院のハード面の改善には一定の時間がかかることが多いですが、少なくともソフト面では、患者サポートセンターの職員を先頭に、ストレスの少ない連携を実践していけるよう、真摯に努めていく所存です。今年度もどうぞよろしくお願いいたします。



患者サポートセンター長  
平田 理

## 新入医師紹介

### 既卒医師



消化器内科  
三科 雅子  
(みしな まさこ)  
出身：鹿児島県  
出身大学：帝京大学  
座右の銘：為せば成る  
好きな食べ物：お寿司

### 初期研修医



種山 みなみ  
(あきやま みなみ)  
出身：山梨県  
出身大学：杏林大学  
座右の銘：雨垂れ石を穿つ  
好きな食べ物：アイス



保阪 樹里  
(ほさか じゅり)  
出身：山梨県  
出身大学：北里大学  
座右の銘：継続は力なり  
好きな食べ物：お寿司、お肉



水野 百恵  
(みずの ももえ)  
出身：山梨県  
出身大学：山梨大学  
座右の銘：置かれた場所で咲きなさい  
好きな食べ物：スパイスカレー、二郎系ラーメン



LI HAO XUAN  
(り こうぜん)  
出身：中国遼寧省  
出身大学：中国医科大学  
座右の銘：自分を信じる  
好きな食べ物：中華料理全般

## JCEPエクセレント賞 受賞

2022年10月にJCEP訪問審査を受け、4年認定と『エクセレント賞』を頂きました。本記事ではJCEPとエクセレント賞の紹介と、当院での初期研修の特長をお伝えします。



### JCEP=初期研修の第3者評価

JCEPとは「Japan Council for Evaluation of Postgraduate Clinical Training」の略称で、正式名称は「特定非営利活動法人 卒後臨床研修評価機構」。国民に対する医療の質の向上を目指すため、臨床研修指定病院における研修プログラムや研修状況の評価を行い、研修プログラムの改善やよりよい医師養成に寄与することを目的に設立された、第三者のサーベイヤーによる評価を行う機関です。

その評価項目は大項目8、中項目27、小項目86と細かく規定され、研修の質や研修環境をさまざまな観点から測っています。訪問審査では、初期研修に関する資料の確認や指導医、研修医、多職種へのインタビューなどを丸1日掛けて行いました。



### 臨床研修病院は1113病院

JCEP認定を受けている322病院のうち、現在エクセレント賞を保持しているのは23病院

今回いただいた「エクセレント賞」は、27の中項目の80%以上が「適切」評価で「要改善」評価がない事、86の小項目の90%以上が最も良い「a評価」である事、という高いハードルに加えて評価委員会で「特に優れている」との承認が受賞の基準です。



当院では「総合診療を中心とした研修医教育」「カンファレンスやレクチャーが充実」「通年に渡る超音波研修」「女性医師に対する支援」「救急研修におけるステップアップ方式」が特に評価されました。いずれも当院の研修の特長であると同時に、セールスポイントでもあったので、良い評価を頂いて大変嬉しく思います。

当院では初期研修1年目で6ヶ月間、総合診療病棟を中心とした研修を行っており、指導医・上級医の伴走と多職種との関わりの中で、研修医自身が治療方針や検査方針を考え、数多くの手技を経験するようにしています。今後も連携施設の皆さまの力を借りながら、病院全体で後継者育成に励んで参ります。

改めて、当院の臨床教育への日頃のご理解、ご協力、誠にありがとうございます。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。